

## 2021(令和3)年度2月委員会

- 配布資料
1. 2022(R4)3月、4月予定表
    - 2-1(会長) 2月役員会記録(2022.2.15)
    - 2-2(会長) 会長会(2/7)について
    - 2-3(会長) 委員候補者プロフィール
    - 3-1(総務) 総務七館連絡会(2/14)について
    - 3-2(総務) 地域交流会「こみゆに亭カフェ」(R4 3/5)チラシ
  - 4.(地交) 令和4年度地域交流部活動の考え方と日程(案)
  - 5.(事企) 荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川」アンケート結果(郷土博物館分館展示)
    - 6-1(広報) わたしのおぎくぼ No. 356 入稿原稿について
    - 6-2(広報) 荻窪の記憶冊子検討について
    - 6-3(広報) メールによる講座申込進捗状況について
  - 7.(事務局) 予算執行状況表

### 1. 報告

- 1-1. 会長：・会長会(2/7(月))報告、・3月からの一部委員所属変更について
- 1-2. 総務部：総会議案書各部作成依頼(締切：2月末)、総務七館連絡会(2/14)について
- 1-3. 地域交流部：令和4年度地域交流部活動の考え方と日程(案)
- 1-4. 事業企画部：
- 1-5. 広報部：わたしのおぎくぼ No. 356、荻窪の記憶冊子検討、メール申込進捗状況について
- 1-6. 道の愛称 p：
- 1-7. 荻窪の記憶 p：荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川」アンケート結果(郷土博物館分館展示)、センターロビー展示(2/2～3/21)
- 1-8. こみゆに亭 p：地域交流会「こみゆに亭カフェ」について
- 1-9. 事務局：
- 1-10. その他：

### 2. 協議

- 2-1. (会長)
- 2-2. (会長・総務) 委員候補(川村さん)承認について
- 2-3. (総務)
- 2-4. (地交)
- 2-5. (事企)
- 2-6. (広報)
- 2-7. (事務局) 予算流用について

### 3. 事務局から

### 4. その他

2022年3月予定

資料 1

		午前	昼休み	午後
1	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			<総務部>大矢 地域交流会「こみゆに亭カフェ」 13:00～15:00、第1・2集会室
6	日			
7	月			
8	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
9	水			
10	木			
11	金			<事業企画部>恵羅 講座七館連絡会 13:00～15:00 高円寺
12	土			
13	日			
14	月	(休館日)		
15	火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No. 356 4月5月号発行・配布 ◎「区広報紙」3/15号原稿事務局へ切		<総務部>大矢 役員会 13:00～、打合せ室
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日	(館内整理日)		
21	月	(春分の日)		
22	火	部会10:00～ 第1・2集会室		<総務部>大矢 委員会 13:00～、第1・2集会室
23	水			
24	木	◎「区広報紙」4/15号校正日		
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	(休館日)		
29	火	部会休み		
30	水			
31	木			
		午前	昼休み	午後

2022年4月予定

		午前	昼休み	午後
1	金			
2	土			
3	日			
4	月			
5	火	部会10:00～	第1・2集会室	
6	水			
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	(休館日)		
12	火	部会10:00～	第1・2集会室	
		◎「区広報紙」6/15号原稿事務局へ切		
		定期監査 11:00～		
13	水			
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月	◎「区広報紙」5/15号校正日		
19	火	部会10:00～	第1・2集会室	<総務部>大矢 役員会 13:00～、打合せ室 総会リハーサル 15:00～ 第1・2集会室
20	水	(館内整理日)		
21	木			
22	金			
23	土			
24	日			
25	月	(休館日)		
26	火	<総務部>大矢 総会 10:00～		部会 13:00～ <総務部>大矢 委員会 15:00～、第1・2集会室
27	水			
28	木			
29	金	(昭和の日)		
30	土			
		午前	昼休み	午後

4/26  
日  
13時委員会～  
15時部会～

文責（茂木）

日時：2022年2月15日（火）13時～14時30分

場所：打合せ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、惠羅副会長・事業企画部長、大矢総務部長、横尾広報部長；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

- 配布資料
1. 2022（R4）3月、4月予定表
  2. （会長） 会長会（2/7）について
  - 3-1（総務） 総務七館連絡会（2/14）について
  - 3-2（総務） 地域交流会「こみゆに亭カフェ」（R4 3/5）チラシ
  4. （地交） 令和4年度地域交流部活動の考え方と日程（案）
  - 5-1（事企） 令和4年度事業企画（案）
  - 5-2（事企） 荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川」アンケート結果（郷土博物館分館展示）
  - 6-1（広報） わたしのおぎくぼ No.356 入稿原稿について
  - 6-2（広報） 荻窪の記憶冊子検討について
  - 6-3（広報） メールによる講座申込進捗状況について
  7. （事務局） 予算執行状況表（2/14 現在）

## 1. 報告

- 1-1. 会長：・ 会長会について（議題は地域課からの連絡が中心。①令和4年度区予算の事業概要、②令和4年度協議会予算編成等にあたっての留意事項（併せて令和3年度実績報告のリマインド）、③コロナ禍の下での大規模イベント等開催時の留意事項のまとめ、④今後の局長会、会長会のスケジュール（次回は「荻窪」が担当予定（6/24（金）、テーマ設定など4月と心積り）。
- 1-2. 総務部：・ 総会議案書各部作成依頼（締切：2月末）、総務七館連絡会（2/14）における議案の紹介（各協議会の総括的課題が網羅されている）。  
・ 「こみゆに亭カフェ(3/5)」については1-8にて報告。
- 1-3. 地域交流部：令和4年度地域交流部活動の考え方と日程（案）
- 1-4. 事業企画部：令和4年度事業企画（案）
- 1-5. 広報部：・ わたしのおぎくぼ No.356、荻窪の記憶冊子検討状況（次年度の事業内容を受けての印刷計画→予算事項と連関）。  
・ メール申込ソフト進捗状況、依頼事項の達成度について。
- 1-6. 道の愛称 p：なし
- 1-7. 荻窪の記憶 p：荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川」アンケート結果（郷土博物館分館展示）、令和4年度事業の内容を現在詰めていること（2/16（水）会議予定）、センターロビー展示状況（2/2～3/21）
- 1-8. こみゆに亭 p：地域交流会「こみゆに亭カフェ」は実施の予定で、準備状況報告
- 1-9. 事務局：流用案あり 2-7にて。
- 1-10. その他：なし

## 2. 協議

2-1. (会長) 3月より一部委員について所属変更の件を承認

2-2. (会長・総務) 委員候補 (川村さん) 委員会への上程の件。

予定どおり承認 (茂木が川村さんの紹介文を作る)

2-3. (総務)

2-4. (地交)

2-5. (事企)

2-6. (広報)

— 広報、事企に事務局を加えて、ソフト整備の到達点について、発注業者と最終調整をすることで合意。

2-7. (事務局)・予算執行状況表 (2/14 現在) に基づき、既定の支出予定および年度内新規案件 (非接触型体温計、廃棄費用、事務局デスクトップ PC およびノート PC、加えて「荻窪の記憶」令和3年度事業を反映した分冊作成費用、合本編集費、三つ折りパンフ増刷費用) への残額予算充当と流用案を提案、同左にて委員会に諮ることで了解。

・なお、両会計監事が欠席であったので、事務局より協議があったことを監事に連絡。

## 3. 事務局から

## 4. その他

令和4年度 地域区民センター協議会補助金の内訳

資料3-2

(単位:円)

事業費相当分	共草	西沢	荻原	阿佐谷	高円寺	高井戸	永福和泉	7協議会 平均
集団事業	1,660,000円	800,000円	960,000円	970,000円	410,000円	1,945,000円	1,000,000円	1,106,429円
学級講座	932,500円	120,000円	476,000円	350,400円	403,000円	388,000円	466,000円	447,986円
協働事業	300,000円	600,000円	960,000円	1,105,000円	860,000円	360,000円	580,000円	680,714円
広報活動	870,000円	1,350,000円	1,486,000円	1,380,000円	1,172,000円	744,000円	1,400,000円	1,200,286円
懇談会	50,000円	50,000円	130,000円	20,000円	160,000円	25,000円	30,000円	66,429円
その他事業	0円	0円	60,000円	0円	40,000円	270,000円	0円	52,857円
事務費	118,000円	200,000円	416,000円	250,000円	380,000円	125,000円	245,000円	247,714円
傷害保険料	60,000円	60,000円	63,000円	80,000円	65,000円	44,000円	67,000円	62,714円
計	3,990,500円	3,180,000円	4,551,000円	4,155,400円	3,490,000円	3,901,000円	3,788,000円	3,865,129円

委員活動費相当分

委員の活動に係る費用	3,771,000円	2,580,000円	3,871,500円	3,694,600円	2,300,000円	3,223,500円	3,569,000円	3,287,086円
計	3,771,000円	2,580,000円	3,871,500円	3,694,600円	2,300,000円	3,223,500円	3,569,000円	3,287,086円

委員研修費相当分

委員研修に係る費用	50,000円	70,000円	0円	250,000円	0円	160,000円	260,000円	112,857円
計	50,000円	70,000円	0円	250,000円	0円	160,000円	260,000円	112,857円

事務局運営費相当分

事務局運営に係る費用、 協議会全体に係る費用等	250,000円	270,000円	250,000円	200,000円	310,000円	292,000円	327,000円	271,286円
計	250,000円	270,000円	250,000円	200,000円	310,000円	292,000円	327,000円	271,286円
合計	8,061,500円	6,100,000円	8,672,500円	8,300,000円	6,100,000円	7,576,500円	7,944,000円	7,536,357円

※協議会により、90周年冠事業に関する経費相当額を別途計上予定。

荻窪地域区民センター協議会(令和4年度予算要求)

事業費

(単位:円)

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
集団事業費	1,284,954	1,111,317	1,330,000	960,000	
学級講座費	612,284	350,952	486,000	476,000	
協働事業費	750,000	1,010,646	863,000	993,000	
広報活動費	1,298,248	1,373,200	1,267,000	1,453,000	
懇談会費	86,081	87,659	90,000	130,000	
その他事業費	61,514	39,112	70,000	60,000	
事務費	151,752	372,000	416,000	416,000	
保険料	56,204	56,610	63,000	63,000	
計	4,301,037	4,401,496	4,585,000	4,551,000	

委員活動費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
委員の活動に係る費用	3,621,000	2,950,500	3,924,000	3,871,500	
計	3,621,000	2,950,500	3,924,000	3,871,500	

委員研修費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
委員研修に係る費用	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	

事務局運営費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
事務局運営に係る費用、協議会全体に係る費用等	292,000	200,000	250,000	250,000	
計	292,000	200,000	250,000	250,000	

	(A)	(B)	(B)-(A)		
補助金合計	8,214,037	7,551,996	8,759,000	8,672,500	-86,500

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となり、結果として、補助金支出額(決算額)が例年より低額となった。

委員会付議案件

2022年2月22日

総務部・会長

協議会新委員1名、承認の件

(候補者のプロフィール)

氏名：川村優子 (かわむら ゆうこ)

年齢：満72歳

住所：杉並区荻窪1丁目

志望動機：

特養老ホームでのボランティア活動、荻窪保健所内で精神障害者に「茶の湯」指導などを通じ、協議会型の活動も経験してみたいと思われたこと。

バックグラウンド：

杉並区役所職員（事務職。35年間、定年まで奉職）、その後家庭に入り主婦。上記との関係では茶道裏千家準教授、着付け師範の資格など保有。

OA 機器対応：パソコン主要ソフト使用、Eメールでの応答など、運用問題なし。

期待できること：

協議会活動に慣れながら、区職員であったよき矜持を活かして欲しいこと。

所属予定部：地域交流部



令和3年度総務部七箇達給金資料

2022年2月14日(月)

キーワード 項目 担当事	1 IT 阿佐谷	2 WEB会議 高円寺	3 委員募集 高井戸	4 委員募集 西荻	5 委員募集 狹壁	6 委員募集 永福和泉	7 委員募集 永福和泉	8 委員募集 高円寺	9 会報の電子化 阿佐谷	10 企画劇出 阿佐谷	11 研修 高円寺
課題	ITへの対応について、どのようなやり方で対応しているか、知識や技術をどう開示しているか。	コロナに関連して、WEB会議を認めているか、またWEB会議での委員活動の取り扱いについて	新委員の募集方法	協賛委員の定員(38名)割れについて、	委員募集の各協賛会の対応：西荻、井草協賛会は近隣の(小学校)PTAから委員が活動に参加しておられますが、その点をお聞かせください。	委員の出身団体のパランスはどう保っているか？	委員募集の効果的方法はありますか？	改選期の委員募集活動について、推薦母体への働きかけはどのようなか、また公募委員の採用基準や要領はあるか。	会報の電子化は進んでいるか、その他メールニュースやホームページへのニュース掲載について、現状はどうか。	新発企画はこの1年で生まれたか、生まれた場合、その原動力となったのはどのようなか。	委員研修の実績と課題について
井草	スキルの個人差が大きいため、できる人ができる範囲で行っている。	委員活動費は費用弁償(委員活動に必要な交通費、通信費等に充当)であるため、委員活動費を支給することが適当と考える。	知人や各団体への事前の声掛け、推薦団体懇談会での依頼。		子供を持つ若い世代のニーズや課題を聞くことができ、学校とのパイプ強くなっていただいている。		委員経験者からの推薦が一番確実。	推薦団体懇談会を行い、推薦を依頼している。公募委員の採用基準や要領は特になし。	会報、講座、イベントの情報をホームページに掲載している。		まつりのためのスキルアップ研修、公認心理師によるコミュニケーション講座、セキユリティポリシシー講座など委員活動に活かせる研修を実施。
西荻	HPの更新や専門的な設定は業者対応としてしている。インターネットなどのセキュリティについては、専門講師による館内委員研修会を実施した。		一期2年ごとの定期募集は地域内の町会、小・中学校のPTA、青少年育成委員会、民生委員、商店会等の団体から推薦を受けた方。また地域民の方の参加に意欲のある方を公募にて募る。また、前記以外に必要な対応してその細度公表をする。	現在の協賛委員の定員は38名ですが実委員は17名です。半数での活動を余儀なくされており、ただコロナ禍の中、どうか活動ができてます。平常時では非常に難しい状態です。特に学校関係との協働事業が出来ておりません。	近隣の小、中学校PTAから輪番で参加。				広報紙「ながま」は協賛会HPのみ電子化(PDF)で掲載している	地域を限定して集まった西荻・善福寺オーブロンサロンのNPO団体と懇談会を実施した。各団体とイベントの協働に向けて有意義な新事業となりました。	毎年度、館内研修2回、館外研修1回実施している。
狹壁	各部のPCが得意な委員が中心に知識、技術を教える。	WEB会議は部によって実施する場合もある。活動費は支給される。	新委員募集は、広報紙「わたしのおどくぼの」、ホームページに掲載。			会則に準じて対応している。現状は、推薦(15名)公募(9名)。	毎年度、町会及び地域団体に新委員候補をお願いしている。	公募委員の採用基準は毎週火曜日の午前中の部会に参加する、PCでのメールの操作等、週末の大きなイベントの手伝い等を、事前にお聞きしている。	ホームページの掲載を有効に活用している。	地域交流活動で、ハロウィンの飾り物を舞台に作り、子供達の写真を撮って貰うイベント。	

資料3-1

キープワード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
協議会	IT 阿佐谷	WEB会議 高円寺	委員募集 高井戸	委員募集 西荻	委員募集 荻窪	委員募集 永福和泉	委員募集 永福和泉	委員募集 高円寺	情報の電子化 阿佐谷	企画創出 阿佐谷	研修 高円寺
阿佐谷	ホームページの更新は広報部中心に委員が担当している。今般、講座申込のオンライン化については、外部業者を委託し、業者の指示を受けて一部委員が具体的な作業を行っている。また、外部有識者を招いてオンライン作業の勉強会も開催している。総務ある委員の退任もある中で、いかにIT関連の作業を分担し継続していくかが、課題である。	WEB会議は行っていない。Zoomによる会議について活動費を払うべきという声があったが、委員会で議論するに至らず、活動費は支払っていない。	改選期には募集チラシを作成のうえ関係団体に配布、町会・自治会の掲示板に貼付、区報に掲載、また運送の地域懇談会にて依頼、委員の個人的伝手での情報等を行なっている。欠員による補充の際には、状況に応じてチラシの作成の有無、個人的伝手の活用等を使用し対応している。	当協議会での状況は平成30年度は30名、令和元年度は25名、令和2年度は30名、令和3年度は28名、令和4年度の予定は27名である。金則により定員は38名となっている。過去からマックス30名で充分運営は可能。今後の指定管理者制度の導入も考え、より少人数で対応は可能と考えられるので、金則の人員改訂も検討すべきと思う。	主に地域懇談会に参加の関係団体に推薦を求めている。井草のようにPTAに限らず他の関係団体との個別の懇談会開催を模索中。	「本会の運営に熱意のある阿佐谷地域内の住民で、定例委員会(臨時委員会)に割り選出された者が委員総数の2分の1以下でなければならぬ」という金則の規定から逸脱しているのが現状。実態はその数を団体から推薦を受けた者に配し調整している。	退任委員の推薦や地域懇談会に参加団体に推薦を依頼する。	改選期には募集のためのチラシを作成し、各団体にチラシを配布し、推薦を依頼し、且つ会費や原費が各団体を訪問し推薦を依頼している。委員の採用時には面接を実施し、月に1回の定例委員会と月2、3回の部会に参加可能を確認している。現在は年齢制限はないが、考えていたほうがよいかどうか検討中である。	広報の電子化は行なわれていない。メールニュースは実施されている。また、ホームページは広報部によって随時更新して掲載されている。	コロナ禍によって「セクターまつり」を「発表会」に変えた。13に詳しく回答がある。	「新センター概要」について研修を行った。館外研修は今年度も2月22日に計画していたが、最近中止を決定した。テーマは「三鷹天文台」、「JAXA調布航空宇宙センター」の見学・研修である。
高円寺	LINEやメールによる連絡を取っているが、パソコンを使わない委員もいることから一部、連絡は電話や手紙によっている。知照の傳達は個人にゆだねられている。	WEB会議は行っていない。Zoomによる会議について活動費を払うべきという声があったが、委員会で議論するに至らず、活動費は支払っていない。	4年10月に18期に委員を募集する予定。1月から地区運送への挨拶回りなどを行っている。地域内の各種団体へのリクルートが主なものとなっている。	高円寺の定員は32名で現在25名となっている。25名のうち2名が長期欠席をしており、実質23名で活動している。指定管理制度導入を前に、各部の整理を行うことが必要である。	高円寺地域区民センター協議会の委員にPTAからの選出はない。	25人中13名が公募。町会・自治会が8名、障害者団体連合会1名、民生児童委員2名、青少年育成委員会1名、*大人塾や公衆の委員が多くなっている。規約で公募委員数の制限はあるか?	特に効果的な方法は無い。永福和泉は新聞折込による募集を行ったと聞いたが効果のほどは?	選出母体への働きかけ高円寺は高円寺地域区民センター協議会委員選任等に依る考え(基準)がある。委員会決定:平成22年4月27日	広報「ふれあい」をPDFにしてホームページに掲載。FB(フェイスブック)は現在休止中。旧ホームページの記事をアーカイブして新ホームページからのアクセスできるように作業中	新規企画は特になし	11月に高円寺地域の施設再編計画の研修(施設再編計画担当)
高井戸		行っていない	①推薦団体に推薦を依頼。②公募:ポスター・チラシの作成、行事時は公演会などの告知に配布、広報すぎなみに募集掲載、ホームページでお知らせ・たかいただよりで募集、センター・集会所にポスター・チラシ・申込用紙の設置		会則で推薦団体としてPTAを明記している近隣小学校5校より輪番(1年)制で推薦。その後委員として継続残留もある		チラシ・ポスター・HP・広報すぎなみ・センター観などで	町会・関連団体へ文書で推薦依頼し、説明会を開催。採用基準一応あり	ホームページに新刊発行時、随時会報を掲載しているメールニュースはない、HPは広報が月に一度情報更新	コロナでできない行事の代替え案を出し、開催できるものを開催	館内研修3回:できなかった行事のセッション、勉強会などをを行う

令和3年度総務部七種選抜会資料

2022年2月14日(月)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
キーワード 出題	IT 阿佐谷	WEB会議 高円寺	委員募集 高円寺	委員募集 西荻	委員募集 荻窪	委員募集 永福和泉	委員募集 永福和泉	委員募集 高円寺	会報の電子化 阿佐谷	企画副出 阿佐谷	研修 高円寺
出題	パソコンを担える委員が限られその委員への負担が高い。 この機会にパソコン習熟できるような機会欲しい。	委員会は認めている。委員活動費は支払います。	地域団体・委員からの推薦、広報誌への掲載、チラシ配布等	同様に定員割れの状態。40名→33名	当協会は毎期1〜2名委員が入る。他の協会の経緯をお聞きしたい。	現在公募高め。団体推薦が減少。公募はチラシ掲示や広報誌から知り応募。地域団体はその団体自体も今は人手不足の為、厳しいかと思われる。	自治会、商店会との懇談会⇒地域懇談会の活性化。OBOG会作りお願い	前半は自治会連合会での推薦依頼。また各地域団体所属の委員へ団体に委員募集を働きかけてもらう。懇談会での懇談。 公募委員の採用基準や選額は特に設けておらず、委員・事務局の面接にて決定される。	広報誌をHPに掲載。HPへの掲載、終了は掲載した各部署でフォローする。	文化活動部の課題テーマに新規性があるものが増え、応募も2倍以上で嬉しい悲鳴。コロナ禍の為地域部は来のイベントを形を築いて行った。参加する方達も予想より多く来訪する事が多い。	館内研修と館外研修、AED研修。3年度は館外研修は中止。

令和3年度総務部七輪協議会資料

コード	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
事業	個人情報	コロナ禍	自主活動	指定管理	指定管理者	人事	総務部	選任	地域交流会	地域懇談会
協議会	西萩	高井戸	西萩	高円寺	西萩	阿佐谷	井草	高円寺	萩	萩
協議会	協議会は「情報セキュリティアプローチ」を制定してあり、これに則って取り扱っている。また、年度初頭に委員の名簿を配布している。個人情報対策としては氏名、電話番号(メールアドレス)を掲載し、住所は町名・丁目まで載せている。途中選任の委員は名簿の廃棄をお願いしている。また名簿のコピーは厳禁としている。今後は期の途中の選任者からは名簿は回収するよう働きかけていきたい。	イベントは全場的人数制限、繰入れ替え制で実施している。令和3年度センター祭りという場を除いて実施している。声が上がるといったことを除いて実施している。令和3年度センター祭りの場を構たいという参加団体の意志とイベントを成功させたいという委員の思いが噛み合った結果。工夫の事例としては「入場券を参加団体に配っていた」というのもその一つ。会場入場時は配られた券の番号と控えた番号で参加者を数え、券の裏面に名前と連絡先を書いていたので回収。	阿佐ヶ谷では例年のイベントも、その形にとわられることなく、地域民の活動の場という繋がりや発展を大切にするべきと考えていた。1,3番でも触れた令和3年度センター祭りの例などは好評である。令和3年度地域懇談会の折、杉並区の原田地域課長からも「時代とともに地域活動の方法は変わらなければならない。しかし変わってほならないものがある。それは地域の人々の繋がりがあつたり活動にあたる方々の熱意である」との語があつた。	これについてはすでに導入されている「西萩」や「高井戸」の方々に伺いたい。特に障がい者対応イベントの取り扱いは協議会の扱いについて事例を伺いたい。阿佐ヶ谷では、導入決定後に指定業者との連携を設け、また区政90周年記念・区民センターオープンイベントを協議会・指定管理者・杉並区・実行委員会方式で行うということが決まっている。	前年の4月公募する。10月議決、公示する。期間は翌年4月～6年間とする。	今年度は12月定例会後に継続するか、しないか、転落希望かを記入して会長に提出した。選任委員がいる部への異動もある。今年度は広報(2/15号)で若干名の補充募集を行う。	総務部5名、部長、副部長、広報、会計、記録係、総会の準備・進行・報告、地域懇談会の準備・進行、議事録作成、総会準備、委員活動費支給、海外研修企画・準備・引率、七輪協議会選任委員の準備(担当届の時は進行)準備購入、その他部に属さないこと。	体調不良、家庭の事情で選任する場合は会長に申し出る。最期にわたって出席しない場合は会長が委員に聞き取りをする。選任する場合は選任届を提出する。	高円寺は特に交流会を設けていない。	高円寺の場合、町会自治会の方を中心に地域懇談会を開いている。その結果、地域懇談会への出席者は比較的高齢の方が多くなっている。30代40代の若いや子育て世代などの若い世代との接点を開発していく必要がある。そこが問題ではないか。
協議会	協議会「セキュリティアプローチ」の研修会を行い委員に周知した。		地域住民相互の交流の促進をはかり、地域課題の解決に取り組む	指定管理者契約時にセンター協議会に協力する旨の条項があり事業によっては、協力者打ち合わせ時に指定管理者に参加してもらう。文書による個別対応の依頼をすることもあ	指定管理前年度導入前にも建物管理委託している(H15～)	特に規定なし	総務部員4人、部長に仕事が増えている点	かつて集団行動が困難な委員に対し会長が委員活動の在り方を話し、自主的に選任してもらったケースがある	指定管理者が同趣旨の地域懇談会を開催している。ホセセンター協議会は規模の大きい事業開催(消防まつり：参加者2,500人以上、ちびっこぼんおどり：参加者13,000人以上、センターまつり参加者：10,000人以上)に伴い、地域の協力団体や指定管理者と協力者打ち合わせを開催している。	
高円寺	委員の個人情報について名簿の記録簿が考えられるが、誰を付けて引き出しに収納している。	学級懇談会は滞りなく実施、祭り等は行っていない。	高円寺 新しい企画については安全性や運営も多し。また、委員も手不届手に大きく影響され情報共有が図りにくいなど弊害もある。無理せず、従来の活動を行っていくことも必要ではないか。そのうえで、新しい企画等が立ち上がった場合は、担当者間の情報共有を図ることを大事にしていくしかないと思う。	指定管理者契約時にセンター協議会に協力する旨の条項があり事業によっては、協力者打ち合わせ時に指定管理者に参加してもらう。文書による個別対応の依頼をすることもあ		基本的に所属班の変更はないが、本人の健康状態などを考慮することもありうる。	総務部員4人、部長に仕事が増えている点	高円寺の場合、町会自治会の方を中心に地域懇談会を開いている。その結果、地域懇談会への出席者は比較的高齢の方が多くなっている。30代40代の若いや子育て世代などの若い世代との接点を開発していく必要がある。そこが問題ではないか。		

	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
キーワード 協賛会	個人情報 西狭	コロナ禍 高井戸	自主活動 西狭	指定管理者 高門寺	指定管理者 西狭	人事 阿佐谷	総務部 井草	連任 高門寺	地域交流会 狭籠	地域懇談会 狭籠
協賛会委員の個人情報 の取り扱方について	協賛会での活動はど のようにされています か?	協賛会の自主活動の在 り方について	指定管理者との連携 はどのように図ってい るか、	地域区民センターの管 理が民間会社に移行さ れた件、	非改選期の委員の人事 (希望の部への異動など) の要領、	総務部員の数、異体 的な作業分担と改善し たい点、	任期中に活動が困難に なった委員についての 処遇はどのようにして いるかまた、長期前に わたって出席のない委 員の処遇について	協賛会と地域住民との 関わり合い：総務部が 主催している地域交流 会「こみゆに奉力 フェ」毎年2回開催、内 容は、1部 協賛会委員 OBによる狭籠の歴史の 講演、大連芸等、2部 参加者同士のフリー トークで、交流を深め て貰う、	協賛会と地域住民との 関わり合い：地域懇談 会に、近隣の高校生、 30代40代に参加して貰 い如何に協賛会と関 わって、協賛会を活性 化していくか、	
議題	プライバシーポリ シー、情報セキュリティ ポリシーに基づき 取り扱っている。	通常の会議は変わら ず、懇談会は懇談会形 式に。飲食を伴う祭り の出席や懇談会の中 止。	*4の委員募集に関係す る事務ですが委員の方 が少なく各部(4部) の委員の数も半減しま す。各期終了時に新旧 交代の人数も半減しま す。そこで各事業を企 画する際、どうしても 委員の企画立案がへり 従来の出来上がってい る事業を運行すること になります。対処方法 = 当初の設立時に 戻って一からのスター ト	指定管理ではない。	指定管理ではない。	基本は、委員が希望す る部を委員会で了承さ れれば、新部が出来 る。	現有総務部は、3名、 部長は懇談会、総務、 地域交流会、研修の陸 上や日程等の検討・調 整をする。部員は3名、 委員会理事等作成、委 員会資料印刷等、総務 部の日々記録、会計登 録業務、活動費支 払	委員との話し合いで決 める。	協賛会と地域住民との 関わり合い：総務部が 主催している地域交流 会「こみゆに奉力 フェ」毎年2回開催、内 容は、1部 協賛会委員 OBによる狭籠の歴史の 講演、大連芸等、2部 参加者同士のフリー トークで、交流を深め て貰う、	協賛会と地域住民との 関わり合い：地域懇談 会に、近隣の高校生、 30代40代に参加して貰 い如何に協賛会と関 わって、協賛会を活性 化していくか、
井草	プライバシーポリ シー、情報セキュリティ ポリシーに基づき 取り扱っている。	通常の会議は変わら ず、懇談会は懇談会形 式に。飲食を伴う祭り の出席や懇談会の中 止。	*4の委員募集に関係す る事務ですが委員の方 が少なく各部(4部) の委員の数も半減しま す。各期終了時に新旧 交代の人数も半減しま す。そこで各事業を企 画する際、どうしても 委員の企画立案がへり 従来の出来上がってい る事業を運行すること になります。対処方法 = 当初の設立時に 戻って一からのスター ト	指定管理ではない。	指定管理ではない。	基本は、委員が希望す る部を委員会で了承さ れれば、新部が出来 る。	現有総務部は、3名、 部長は懇談会、総務、 地域交流会、研修の陸 上や日程等の検討・調 整をする。部員は3名、 委員会理事等作成、委 員会資料印刷等、総務 部の日々記録、会計登 録業務、活動費支 払	委員との話し合いで決 める。	協賛会と地域住民との 関わり合い：総務部が 主催している地域交流 会「こみゆに奉力 フェ」毎年2回開催、内 容は、1部 協賛会委員 OBによる狭籠の歴史の 講演、大連芸等、2部 参加者同士のフリー トークで、交流を深め て貰う、	協賛会と地域住民との 関わり合い：地域懇談 会に、近隣の高校生、 30代40代に参加して貰 い如何に協賛会と関 わって、協賛会を活性 化していくか、
西狭	委員個人情報(氏名、 住所、電話番号、メー ルアドレス)はリスト にし、印刷した物を全 委員に配布している。 リストに載せる情報 は、各委員の任意。リ スト修正時、任期満了 の際は、回収する事に なった。	通常の会議は変わら ず、懇談会は懇談会形 式に。飲食を伴う祭り の出席や懇談会の中 止。	*4の委員募集に関係す る事務ですが委員の方 が少なく各部(4部) の委員の数も半減しま す。各期終了時に新旧 交代の人数も半減しま す。そこで各事業を企 画する際、どうしても 委員の企画立案がへり 従来の出来上がってい る事業を運行すること になります。対処方法 = 当初の設立時に 戻って一からのスター ト	指定管理ではない。	指定管理ではない。	基本は、委員が希望す る部を委員会で了承さ れれば、新部が出来 る。	現有総務部は、3名、 部長は懇談会、総務、 地域交流会、研修の陸 上や日程等の検討・調 整をする。部員は3名、 委員会理事等作成、委 員会資料印刷等、総務 部の日々記録、会計登 録業務、活動費支 払	委員との話し合いで決 める。	協賛会と地域住民との 関わり合い：総務部が 主催している地域交流 会「こみゆに奉力 フェ」毎年2回開催、内 容は、1部 協賛会委員 OBによる狭籠の歴史の 講演、大連芸等、2部 参加者同士のフリー トークで、交流を深め て貰う、	協賛会と地域住民との 関わり合い：地域懇談 会に、近隣の高校生、 30代40代に参加して貰 い如何に協賛会と関 わって、協賛会を活性 化していくか、
狭籠	会の取り扱う個人情報 については、狭籠地域 区民センター協賛会 則18条に基づき、別に 定めるプライバシーポ リシーに基づき保護か つ適切に取り扱ってい る。	通常の会議は変わら ず、懇談会は懇談会形 式に。飲食を伴う祭り の出席や懇談会の中 止。	*4の委員募集に関係す る事務ですが委員の方 が少なく各部(4部) の委員の数も半減しま す。各期終了時に新旧 交代の人数も半減しま す。そこで各事業を企 画する際、どうしても 委員の企画立案がへり 従来の出来上がってい る事業を運行すること になります。対処方法 = 当初の設立時に 戻って一からのスター ト	指定管理ではない。	指定管理ではない。	基本は、委員が希望す る部を委員会で了承さ れれば、新部が出来 る。	現有総務部は、3名、 部長は懇談会、総務、 地域交流会、研修の陸 上や日程等の検討・調 整をする。部員は3名、 委員会理事等作成、委 員会資料印刷等、総務 部の日々記録、会計登 録業務、活動費支 払	委員との話し合いで決 める。	協賛会と地域住民との 関わり合い：総務部が 主催している地域交流 会「こみゆに奉力 フェ」毎年2回開催、内 容は、1部 協賛会委員 OBによる狭籠の歴史の 講演、大連芸等、2部 参加者同士のフリー トークで、交流を深め て貰う、	協賛会と地域住民との 関わり合い：地域懇談 会に、近隣の高校生、 30代40代に参加して貰 い如何に協賛会と関 わって、協賛会を活性 化していくか、



令和4年2月22日 委員会資料

## 令和4年度地域交流部活動の考え方と日程（案）

### 1. 活動の基本

- (1) 昨年度計画を踏襲し、子供たちの遊びと学びにスポットを当て、親子がセンターに集いたくなる活動に重点を置く
- (2) 開催の時期について、以下の観点で見直しをおこなう
  - ① 令和4年度上半期に、コロナの感染が沈静化するとは限らず、6月に計画しているセンター祭りの開催が難しい状況となった場合は、規模を縮小しての実施または10月の「マルシェ&ハロウィン子供祭り（仮称）」と合体させ、全体の構成などを見直しして実施することを想定しておく。（この判断は4月上旬を目途とする）
  - ② アート展については出展者の出展意欲、モチベーションも考慮し、酷暑、厳寒期を避け、アートイベントにふさわしい時期を設定する
  - ③ ①②を充足させるためには9～11月の日程が非常にタイトとなるが、成就には至らずとも、令和3年度に積み上げてきた準備とコーディネートノウハウを生かし、令和3年度に準備してきた内容を基本に必要な修正を加え実施する

### 2. 日程

#### (1) 令和4年度行事別日程

4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		6/5			9/24,25	10/30	11/5	マルシェ&ハロウィン子供祭り 音楽祭		2/26	本天沼祭り	
		センター祭り			アート展							

※ 延期が中止の場合は合体も検討

#### (2) 日程についての補足

##### ① マルシェ&ハロウィン子供まつり

6月のセンター祭りがコロナ等の影響で開催できない場合は、10月30日の内容を変更し10月29日、30日の二日間または30日の1日でセンター祭り、マルシェ&ハロウィン子供まつりを合体して開催する。

##### ② アート展 3案 A案 9/24,25 B案 10/1,2 C案 11/26,27

- A案○ 準備日 23 秋分の日 24 事業企画調整了承(和室い)
- B案× 準備日 9/30 会議室先約(行政)
- C案× 準備日 11/25 会議室先約(町会)

令和3年度(参考)

- ・43アート展 6/12,13(コロナ)→延期 4年1/29,30(コロナ)→中止
- ・43センター祭り 10/10(選挙)→10/31→規模縮小マルシェに変更実施
- ・第7回音楽祭 11/6開催
- ・本天沼集会所まつり 令和4年2/27(コロナ)→中止

3. 予算:

令和3年7月に4年度の予算要求に際し、地交部予算(集団事業費1,160,000)は既存3イベントをベースに立てているが、「マルシェ&ハロウィン子供まつり」を追加したので3イベントごとの予算を削減し、修正して対応する。

マルシェ概算:214,000円

以上



## 「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」展アンケート

郷土博物館分館・2021年12月11日～2022年1月19日

&lt;来場者&gt; 一般980人、小中学生142人、幼児278人、計1,400人

&lt;アンケート回答数&gt; 34枚

(1) あなたの年代を教えてください

- ① 10代0 ② 20代0 ③ 30代2 ④ 40代3 ⑤ 50代4 ⑥ 60代8  
⑦ 70代12 ⑧ 80代4 ⑨ 未回答1

(2) 住所はどちらですか？

- ① 南荻窪1 ② 宮前0 ③ 荻窪3 ④ 上荻2 ⑤ 天沼3 ⑥ 本天沼0 ⑦ 清水5  
⑧ 今川0 ⑨ 桃井3 ⑩ 高井戸東1 ⑪ 高井戸西0 ⑫ 成田東1 ⑬ 成田西1  
⑭ 浜田山1 ⑮ 上記以外の杉並区 (久我山1、西荻1)  
⑯ 杉並区外 (中野区2、所沢1、阿佐ヶ谷1、上井草3、松の木1、堀ノ内1  
井草1、未記入1)

(3) この展示を何でお知りになりましたか？

- ① 広報すぎなみ4 ② 広報紙「わたしのおぎくぼ」1 ③ チラシ4 ④ ポスター7  
⑤ その他 (SNS1、郷土博物館HP1、インターネット1、業務通達1、図書館1  
近所住人1、NHKTVニュース1、杉並てくてくおさんぽ帖1、直接来た6  
口コミ1、その他1)

(4) 展示をご覧になった感想は？ (○印をつけて下さい)

- ① 興味を持って観た32 ② 普通 ③ 物足りなかった1

(5) 「興味を持って観た」とお答えの方、その理由をお聞かせください。

・教科書に載らないような「地域の歴史」がとても興味深いです。たくあんの話など知恵を絞って豊かな村を築いたのを面白く読ませていただきました (50代)

・歴史を知ることができた (60代)

・サラリーマン時代と違い、地元で根を下ろすためにも、地元を十分知る必要がある (80代)

・昔の雰囲気伝わって楽しかった (60代)

・3地域の由来・歴史が要領よくまとめられており、分かりやすかった (70代)

・自分の暮らす街がどのような変遷をたどって現在に至るのかが分かりやすい文章の小さな発見の

連続で、とても楽しかったです（40代）

- ・学校や道など、普段気にしていなかったものの由来を知れた（30代）
- ・既存資料を活かして、現代からの見方を取り入れている（70代）
- ・地名の由来がよく分かる（70代）
- ・荻窪駅周辺で最も知られていない地域であった（70代）
- ・とても分かりやすい展示。調査もいい感じ（50代）
- ・素晴らしい展示でした。ありがとうございました。
- ・井草村が無役地だったのは初耳。井口家の長屋門に今川家行列の参加があったのも、六世本因坊実家があったのも初耳。妙正寺池湧水と井草川の合流も始めて見た（60代）
- ・自分の住む町のことを知れたから（40代）
- ・「ゆかりの人々」で石山太伯、橋本堅太郎を知れた。清水の湧水、沓掛妙正寺あたりのこと興味持てました。桃井の地名、四面道と常夜灯、八幡神社に行ってみます（70代）
- ・井荻地区の道路整備が大正時代に行われていたことが大変興味を引かれた（60代）
- ・桃井1丁目に家を建てて20年、住み心地良い大好きな自分の町の歴史を初めてきちんと知ることができた。パネルは全て熟読しました。ますます地元愛が育まれました（60代）
- ・歴史を知るとは楽しいと思いました（60代）
- ・5年前に清水へ越してきて、近所のあちこちを散歩しているときに歴史を感じる箇所を幾つか発見し、今回の展示にそれらが紹介されていたり、まだ知らないことも多く紹介されており、とても面白かったです！（50代）
- ・いろいろな文化面に関するものが置かれていて、また来たいです（30代）
- ・この地域の由来がよく分かった（70代）
- ・この地で70年暮らしてきましたが、歴史について学ぶ機会もなく、いろいろ新しいことを知りました。八丁の由来について誤った俗説をうのみにしていました。本当の歴史を知らなくてははいけませんね（70代）
- ・子供のころを思い出しました（70代）
- ・それぞれの土地の由来、発展の歴史、地理的な特徴、いずれも興味深いです（60代）
- ・妙正寺川の写真S33年/今川氏との関係（60代）
- ・解説がとても良かった。冊子にまとめていただけると嬉しいのですが・・・（80代）
- ・昔、杉並に住んでいて、懐かしく拝見いたしました。中野区でこのような展示会ができれば良いと思いました（80代）
- ・当地に移り住んで50有余年になり、懐かしく思い出されます（70代）
- ・最近になって地元の歴史に興味を持つようになった。今まで知らなかったことを多く学べた（80代）
- ・自転車屋ウォーキングで歩いている地名に杉並の歴史、著名人宅が居住、ゆかりありと想像巡らす楽しさ（70代）

連続で、とても楽しかったです（４０代）

- ・学校や道など、普段気にしていなかったものの由来を知れた（３０代）
- ・既存資料を活かして、現代からの見方を取り入れている（７０代）
- ・地名の由来がよく分かる（７０代）
- ・荻窪駅周辺で最も知られていない地域であった（７０代）
- ・とても分かりやすい展示。調査もいい感じ（５０代）
- ・素晴らしい展示でした。ありがとうございました。
- ・井草村が無役地だったのは初耳。井口家の長屋門に今川家行列の参加があったのも、六世本因坊実家があったのも初耳。妙正寺池湧水と井草川の合流も始めて見た（６０代）
- ・自分の住む町のことを知れたから（４０代）
- ・「ゆかりの人々」で石山太伯、橋本堅太郎を知れた。清水の湧水、沓掛妙正寺あたりのこと興味持てました。桃井の地名、四面道と常夜灯、八幡神社に行ってみます（７０代）
- ・井荻地区の道路整備が大正時代に行われていたことが大変興味を引かれた（６０代）
- ・桃井１丁目に家を建てて２０年、住み心地良い大好きな自分の町の歴史を初めてきちんと知ることができた。パネルは全て熟読しました。ますます地元愛が育まれました（６０代）
- ・歴史を知るとは楽しいと思いました（６０代）
- ・５年前に清水へ越してきて、近所のあちこちを散歩しているときに歴史を感じる箇所を幾つか発見し、今回の展示にそれらが紹介されていたり、まだ知らないことも多く紹介されており、とても面白かったです！（５０代）
- ・いろいろな文化面に関するものが置かれていて、また来たいです（３０代）
- ・この地域の由来がよく分かった（７０代）
- ・この地で７０年暮らしてきましたが、歴史について学ぶ機会もなく、いろいろ新しいことを知りました。八丁の由来について誤った俗説をうのみにしていました。本当の歴史を知らなくてははいけませんね（７０代）
- ・子供のころを思い出しました（７０代）
- ・それぞれの土地の由来、発展の歴史、地理的な特徴、いずれも興味深いです（６０代）
- ・妙正寺川の写真Ｓ３３年／今川氏との関係（６０代）
- ・解説がとても良かった。冊子にまとめていただけると嬉しいのですが・・・（８０代）
- ・昔、杉並に住んでいて、懐かしく拝見いたしました。中野区でこのような展示会ができれば良いと思いました（８０代）
- ・当地に移り住んで５０有余年になり、懐かしく思い出されます（７０代）
- ・最近になって地元の歴史に興味を持つようになった。今まで知らなかったことを多く学べた（８０代）
- ・自転車屋ウォーキングで歩いている地名に杉並の歴史、著名人宅が居住、ゆかりありと想像巡らす楽しさ（７０代）

(6) 「物足りなかった」方、その理由をお聞かせください。

・沓掛には奈良時代、東海道あまぬま駅関連説がある旨、紹介して欲しかった。川越や所沢への街道を説明するなら地図で明示して欲しかった(60代)

・展示に上げていただきました山田正平の身内のものです。確かに上井草には引っ越してきましたが、2年間しか仮住まいしてなくて、その後、没するまで33年は上荻に住んでいました、あれ??? と思ってしまいました。(どうかな〜) 項目的には「上荻窪」だと思います。1stコンタクトの時、印影と図録の展示はOKしましたが、何日にopenするのか連絡が欲しかったです。展示原稿の確認がないですね。印影のキャプションに制作年、素材も入れて欲しかったです。ありがとうございます。(内容的にもう少し深掘りして欲しいですね。山田正)(50代)

(7) 今後どのような展示や講座を希望されますか?

・これからも地域の歴史を紹介して欲しいです。写真も地図もお話も興味深く見させて頂いています(50代)

・杉並の他の地域の展示や講座を希望(70代)

・看板建築やお屋敷らしさなど、建築に焦点を当てた展示を見たい。全てマンションに変わりつつあるので(40代)

・庶民のくらし、証言に根差した内容(70代)

・和田に住んでいた菅野力夫(探検家)を知りたい(50代)

・続日本紀、東海道や古道展(60代)

・江戸〜現代の交通(街道、鉄道)、関東大震災による都心からの移住(60代)

・できましたら私が住んでいます浜田山を知りたいと思います(60代)

・暗渠化された川と現在(50代)

・障害者についてのことを知りたいです(私自身もそうなので。可能ならで)(30代)

・写真、文書、文章に加え、実物も見られると更に興味が深まります(60代)

・荻窪駅、教会通りの昭和の写真特集/本天沼の昭和の写真(60代)

・このような歴史展示や講座を希望します(70代)

・多の地区も次々に展示してほしい。分室に近いのも有り難い(70代)

(8) 今回の展示の実施団体、荻窪地域区民センター協議会をご存じでしたか?

①知っている 12 ②知らない 20 未記入 2

(9) これまで同協議会が開催したイベントや講座に参加されたことがありますか?

①ある 8 ②ない 21 未記入 5

(欄外の記述)

・元阿佐ヶ谷協議会委員です。貴協議会とはCo-workしていました。ご発展(活躍)を祈っております(70代)

---

・トイレは快適な最新型のTOTO製に変更してください(暗い、古い、扱いにくい)

---

・展示パネルの文字が読みやすい書体、大きさと、とても快適に観ることができました!!入口の雪もきれいになっていて安全でした!!(不明)

---

・荻窪の記憶全体の紀要を望む、見逃しも多いので(60代)

---

・私の居る「清水3-19」はその昔、中瀬町319番地でした。中瀬町の記述がなかったのが残念でした(70代)

---

(以上、アンケートへのご回答、ありがとうございます)

(欄外の記述)

・元阿佐ヶ谷協議会委員です。貴協議会とはCo-workしていました。ご発展(活躍)を祈っております(70代)

---

・トイレは快適な最新型のTOTO製に変更してください(暗い、古い、扱いにくい)

---

・展示パネルの文字が読みやすい書体、大きさに、とても快適に観ることができました!!入口の雪もきれいになっていて安全でした!!(不明)

---

・荻窪の記憶全体の紀要を望む、見逃しも多いので(60代)

---

・私の居る「清水3-19」はその昔、中瀬町319番地でした。中瀬町の記述がなかったのが残念でした(70代)

---

(以上、アンケートへのご回答、ありがとうございます)

# わたしのおぎくぼNo.356 初稿の修正予定

## P1 新年度に予定する荻窪地域区民センター協議会の活動（例）

写真の配列で広報部の左右に大きなスペースが出来ている→全体にスペースを均等に配列する

## P2 今のところ修正なし

## P3 講座報告 2件「天才・手塚治虫との対話から」「正しく学ぼう！ラジオ体操」

2件のバランスを考慮し、同じトーンになるように修正

- ・記事本文の文字の書体・大きさを揃える（初稿ではあまりにアンバランス）
- ・写真の大きさも不自然にならないように調節する

## P4 講座などのご案内 【講座の申込方法】の文章の修正

【講座の申込方法】 4月から往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)から申込できます。

※往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(T167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。

※ホームページの場合(1人1件)受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、Webメールで申込ください。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)



【講座の申込方法】 4月から往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)から申込できます。

(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

※往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(T167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。

※ホームページの場合(1人1件)受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、Webメールで申込ください。

## P4 イベント紹介 おぎくぼセンター祭 コロナなどの注意書きの文言・文字の大きさ修正

初稿： ※新型コロナウイルス感染症対策などにより掲載内容を変更する場合があります。



修正案： 地域交流からの指示待ち

## P4 これからのスケジュール 記載漏れ有り、修正・追加する

(初稿)

**これからのスケジュール**

5月14日 ● 野外講座「若狭海岸北口下郷集落」  
 5月16日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 5月22日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 5月28日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月5日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月12日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月19日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月26日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月3日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月10日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月17日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月24日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月31日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月7日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月14日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月21日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月28日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月4日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月11日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月18日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月25日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月2日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月9日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月16日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月23日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月30日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月6日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月13日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月20日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月27日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月4日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月11日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月18日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月25日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念

(初稿修正)

**これからのスケジュール**

4月26日 ● 「令和4年度新年度会」  
 5月14日 ● 野外講座「若狭海岸北口下郷集落」  
 5月16日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 5月22日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 5月28日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月5日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月12日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月19日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 6月26日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月3日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月10日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月17日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月24日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 7月31日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月7日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月14日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月21日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 8月28日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月4日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月11日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月18日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 9月25日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月2日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月9日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月16日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月23日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 10月30日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月6日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月13日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月20日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 11月27日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月4日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月11日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月18日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念  
 12月25日 ● 「おぎくぼセンター」開館1周年記念

※「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

# 「おぎくぼの記憶IV」の冊子化と「総集編の作成」について

1. 今年度は「荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史」を、分冊として発刊する

A5判サイズ 部数 1,000部 (新版荻窪の記憶の残約 500部と来年度と一緒に配布する予定)  
本文 30 ページ (他に表紙あり) 2月22日 (本日) 入校、 3月末に発刊する予定

内容

- ・中扉・はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1・P2
- I. 井草村の400年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3~P10
- II. 清水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10~P14
- III. 桃井・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14~P19
- IV. 今川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20~P23
- V. ゆかりの人々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23~P28
- ・参考文献・協力者氏名・奥付等・・・・・・・・・・・・ P29・P30

↓  
納品

2. 来年度は「荻窪の記憶 総集編」として全体の合本発行を目指す

A5判サイズ 部数 2,000~3,000部  
本文 170 ページ前後になる見通し  
発行時期は 2022 年末~2023 年度期首となる見通し

内容

- 第1章 大田黒公園周辺 100年の歴史
- 第2章 天沼 100年の歴史
- 第3章 南荻窪・宮前 100年の歴史
- 第4章 清水・桃井・今川の歴史
- ※第5章 西田・川南・田端の歴史(仮称)
- 第6章 町名の由来と今  
「荻窪の記憶」写真館

※は来年度の活動をまとめる (来年度も郷土博物館分館展示、荻窪地域区民センター展示を行う予定)

3月8日 (火) 13時~ 荻窪の記憶PJを開催し、来年度の活動の打合せを行います。

以 上



①ホームページの狹窪寄席にアクセスする

トップページ 講座・講演・イベント等 行ったしのおまぐし(ほ)等 協議会について

HOME > お知らせの案内 > お知らせ > 12月12日(日)「狹窪寄席」開催案内

12月12日(日)「狹窪寄席」開催案内

募集中!

**狹窪寄席**

毎月1回、あなただけの特別な時間と、お楽しみで、お楽しみをいたしているイベントを開催しております。今回は、おまぐし(ほ)をたくさんお楽しみいただけます。

※ 日 会 場 狹窪寄席(本館)「狹窪」(狹窪本館) 4F  
 狹窪(本館) (狹窪本館)

※ 日 時 12月12日(日) 午後2時～4時 ※ 定 員 30名  
 ※ 場 所 狹窪地区センター 1階(狹窪本館) ※ 申込期間 11月26日(日)～

講師 北原孝太郎(狹窪)・岩崎雅彦(本館) 横尾

開催日 12月12日(日)

時間 午後2時～4時

場所 狹窪地区センター1階・2階(本館)

定員 30名

参加費 無料

申し込み 11月28日(日)

申込方法 ・お申し込みは、お申し込みください。

往復はかき(一人一往)の希望者は、お申し込み(フリカ)を希望者

お申し込みください。

〒167-0051 杉野区私設 34-20 狹窪地区センター(狹窪本館)

(お申し込みください)

お申し込みフォーム

CLICK

②お申し込みフォームの画面を呼び出す

③お申し込みフォームに個人情報を入力

講座・講演・イベント等のお申し込みフォーム

講座・講演・イベント名 12月12日(日)「狹窪寄席」開催案内

氏名 姓 名 姓 名

氏名(ひらがな) よこお こういち

郵便番号 167-0051

都道府県 東京都

市区町村・地域名 杉野区私設34-20

マンション・アパート名

年齢 73 歳

電話番号 090-3081-0299

メールアドレス 5812yoko@com.home.ne.jp

メールアドレス(確認) 5812yoko@com.home.ne.jp

12月12日(日)に開催する

管理番号を表示したい

CLICK

④入力した情報が間違いないかを確認する

講座・講演・イベント等のお申し込みフォーム

講座・講演・イベント名 12月12日(日)「狹窪寄席」開催案内

氏名 姓 名 姓 名

氏名(ひらがな) よこお こういち

郵便番号 167-0051

都道府県 東京都

市区町村・地域名 杉野区私設34-20

マンション・アパート名

年齢 73

電話番号 090-3081-0299

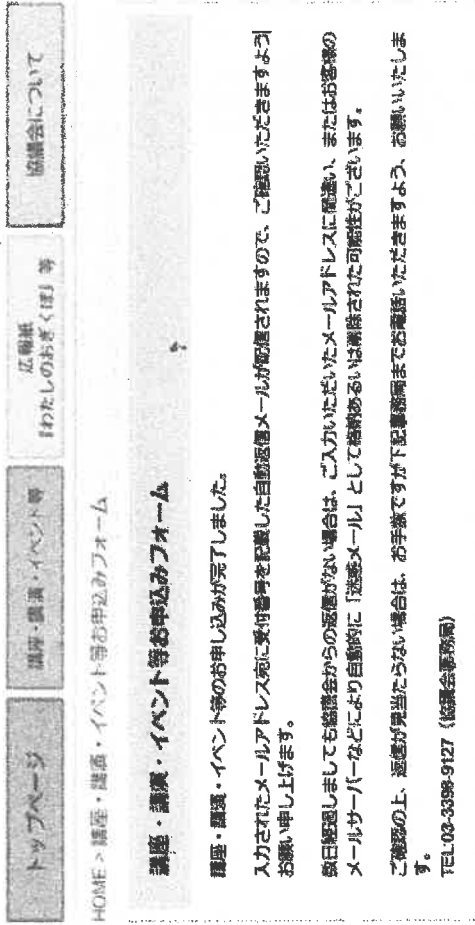
メールアドレス 5812yoko@com.home.ne.jp

メールアドレス(確認) 5812yoko@com.home.ne.jp

プライバシーポリシーに同意する チェックあり

CLICK

⑤間違いないければ「この内容で送信」をCLICK



⑦サーバーから協賛会へ受講申し込みありとの連絡（メール）

From: 荻窪地域民生センター協賛会 [mailto:info@ogikubokyougikai-staging.skr.jp]  
 Sent: Monday, February 21, 2022 11:34 AM  
 To: ogikubo-yokoo@jcom.home.ne.jp  
 Subject: T02 12月12日(日)「荻窪寄席」開催案内

講座・講演・イベント等ご担当者様

講座・講演・イベント等の申込みがありました。

不完全

○T02：管理番号（講座毎）  
 ×用件：申込み受けました  
 △講座名：12月12日(日)「荻窪寄席」

【受付番号】  
14

【講座名】  
T02 12月12日(日)「荻窪寄席」開催案内

Wordpress 管理画面より詳細をご確認ください。  
<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/wp-login.php>

⑧同時に申し込み者に受けましたとの連絡メール

Ogikubo Yokoo

送出人: 荻窪地域民生センター協賛会 <sendonly@ogikubokyougikai-staging.skr.jp>  
 送信日時: 2022年2月21日月曜日 11:34  
 宛先: 5812yokoo@jcom.home.ne.jp  
 件名: T02 お申込みありがとうございます

本メールは講座などの参加確認書面となりますので、開封終了まで保管・管理をお願いします。なお、本メールは当選通知ではありません。

\*\*\*\*\*  
 このメールは申し込み完了時に送信される自動送信メールです。  
 このメールアドレスは送信専用のため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。  
 \*\*\*\*\*

後尾 耕一様

T02：管理番号（講座毎）  
 用件：お申込みありがとうございました  
 講座名：12月12日(日)「荻窪寄席」

この度は講座にお申し込みいただきありがとうございます。以下、お申し込み内容の確認になります。

【受付番号】  
14

【講座名】  
T02 12月12日(日)「荻窪寄席」開催案内

多数の参加申込みをいただいた場合、抽選にて参加者を決定いたします。応募締切日の5日以内を目安に発表いたしますので、以下のURLを必ずご確認ください。

[https://ogikubokyougikai-staging.skr.jp/12月12日\(日\)荻窪寄席開催案内/](https://ogikubokyougikai-staging.skr.jp/12月12日(日)荻窪寄席開催案内/)

当選された方は当日受付にてこちらのメールを印刷したものを、またはスマートフォン画面を控えいただけますようお願いいたします。

万が一、このメールの受信に遅れてお心当たりのない場合は、直ちに当協会へご連絡とメールの返信をお願いいたします。

荻窪地域民生センター協賛会  
 東京都杉並区荻窪2-34-20  
 電話 03-3398-9127

HP 画面の改善点：講座の画面に最初は Web メール申し込み画面が表示せず、「お申し込みフォーム」をクリックすると、Web メール申し込み画面が出るようにする。  
 メール改善点：複数の講座申し込みメールをソートする作業の利便性を考慮し、メールのタイトル行を「管理番号（講座毎にふる）+用件+講座名」とする。

# 講座応募作業分担(案)

(広報) = 広報部  
 (事企) = 事業企画部  
 (事務) = 事務局

## 往復ハガキ

講座ごとにハガキの仕分(事務)

ハガキ保管方法(カギの保管は事務局)  
 事務局 キヤベネット

## メール応募

### メール返信方式

講座ごとの応募メールフォームHP開設(広報)  
 講座管理番号の付与(広報)  
 講座ごとのメールBOX振り分け準備(事務)

区民が応募  
 自動返信メール

メール応募は事務局PC3台と  
 委員PC№1で受信@gikukubo.  
 oubo@lily.ocn.ne.jp

締切  
 終了講座のメール  
 フォームの停止(広報)

ハガキ、メール応募リストで  
 抽選(事企)

名簿専用外付けハードディスクを使用  
 管理方法(カギの保管は事務局)  
 事務局金庫

ハガキ応募の受講  
 者名簿の作成。住  
 所は省略(事企)

締切  
 終了講座のメール  
 フォームの停止(広報)

講座管理番号で講座  
 ごとにソートし、事業企  
 画部にメール応募リス  
 トを渡す(事務)

応募者のアドレスをコピー  
 し、メールで当落の  
 連絡(事企)1件対応

メール応募の受講者名簿  
 を作成(事務)

電話問い合わせ、キャンセル  
 対応(事務)

ハガキ応募者名簿(事企)

メール応募者名簿(事務)

講座当日

当落発表方式(当面採用なし)  
 応募  
 流れ  
 者データの自動リスト化まで同

締切  
 終了講座のメール  
 フォームの停止(広報)

当落発表

メール応募の受講者  
 名簿を作成(事務)

※ 名簿は住所は省略してもいいのでは？  
 名前・ひらがな・年齢・連絡先

事務量を見ながら、システム、役割分担を再検討

令和8年度 予算執行状況表【支出】

区分	当初予算額		運・費・流用(9月および11月)		既往予算残額		第二次選定・費・流用案		予算残額(2月)		執行済額		既定案件執行予定額		今次執行決定予定額		残存執行可能額	
	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1 役員活動費	3,924,000	497,000	-	-	3,924,000	497,000	-	-	3,924,000	497,000	2,998,900	-	-	-	-	-	375,900	-
2 雑費	4,885,000	35,000	-	-	4,885,000	35,000	-	-	4,885,000	35,000	3,135,350	166,313	488,796	799,900	47,000	162,454	9,766	274,308
① 学級講座費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② センターカレッジ費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③ 集団事業費	1,330,000	30,000	-112,340	60,000	1,217,660	90,000	-480,000	-	737,660	90,000	510,771	44,360	43,450	100,000	-	83,439	45,640	
④ 地域活動事業費	20,000	-	-	-	20,000	-	-	-	20,000	-	545	-	-	-	-	19,455	-	
⑤ 移動費	70,000	160,000	-	-30,000	70,000	130,000	-	-	70,000	130,000	64,164	-	5,838	24,164	-	-	-	
⑥ 広報活動費	1,267,000	20,000	112,340	-	1,379,340	20,000	-	-	1,379,340	20,000	1,021,645	-	357,695	2,805	-	105,836	-	
⑦ 周年記念事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 給食費	20,000	20,000	-	-	20,000	20,000	-	-	20,000	20,000	12,410	-	7,590	7,410	-	12,560	-	
⑨ 送料費	63,000	17,000	-	-	63,000	17,000	-	-	63,000	17,000	45,700	13,200	15,110	-	-	2,190	3,800	
⑩ 研修費	418,000	28,000	-	-	418,000	28,000	-	-	418,000	28,000	207,126	-	-	-	180,000	-	-	
⑪ 渉外費	40,000	-	-	-	40,000	-	-	-	40,000	-	30,970	-	-	-	-	28,874	28,000	
⑫ 交通・通信費	10,000	20,000	-	-	10,000	20,000	-	-	10,000	20,000	-	15,604	-	-	-	630	-	
⑬ 協働事業費	863,000	187,000	-	-30,000	863,000	137,000	480,000	-	1,343,000	137,000	863,000	93,149	-	22,000	471,800	10,000	4,396	
3 事務所運営費	250,000	50,000	-	-	250,000	50,000	-	-	250,000	50,000	114,361	-	133,978	40,000	-	8,100	21,951	
4 委員研修費	-	100,000	-	-	-	100,000	-	-	-	43,956	-	29,098	-	-	-	1,861	10,000	
5 備出金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 備支出金	-	140,464	-	-	-	140,464	-	-	-	140,464	-	187,061	-	-	-	-	-	
7 予備費	-	200,000	-	-	200,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	8,759,000	987,464	-	-	8,759,000	987,464	-	-	8,759,000	731,422	6,246,211	382,472	1,172,274	-3,621	799,900	539,815	-	352,571

◆今後支出予定品目案  
 非営利型団体設計(学級講座費)  
 廃棄料(集団事業費)  
 事務室パソコンリース外注費(事務費)

●流用案  
 【集団事業費⇒協働事業費】  
 記憶分冊制作印刷費(1000冊)  
 記憶金本編集書  
 三つ折りパンフレット増刷費(4000冊)

◆今後支出合計 799,900

◆既定案件執行予定額に含まれている。  
 事務室パソコン(事務局運営費)

160,000

2,000

471,900



令和3年度 予算執行状況表【収入】

R4.2.15

区分	当初予算額		振替・流用・返還	予算現額		収入済額		収入予定額 (自主財源)	予算現額と収入額の差額	
	補助金	自主財源		補助金	自主財源	補助金	自主財源		補助金	自主財源
1 区補助金	8,759,000		0	8,759,000		8,759,000		0	0	
① 委員活動費	3,924,000		0	3,924,000		3,924,000		0	0	
② 事業費	4,585,000		0	4,585,000		4,585,000		0	0	
③ 事務局運営費	250,000		0	250,000		250,000		0	0	
2 総収入		437,000	0	437,000	168,958	168,958	12,000	12,000	▲ 256,042	
① 事業参加費		174,000	0	174,000	91,200	91,200	12,000	12,000	▲ 70,800	
② 自動販売機手数料		0	0	0	0	0	0	0	0	
③ 樓下店収入		260,000	0	260,000	40,600	40,600	0	0	▲ 219,400	
④ 雑収入		3,000	0	3,000	37,158	37,158	0	0	34,158	
3 繰入金			0		0	0	0	0	0	
4 繰越金		550,464	0	550,464	550,464	550,464	0	0	0	
計	8,759,000	987,464	0	8,759,000	987,464	8,759,000	719,422	12,000	0	▲ 256,042

# 御見積書

令和 4 年 月 日

## 荻窪地域区民センター協議会事務局 御中

下記のとおり御見積申し上げます  
宜しくご検討の程お願い致します

■各種印刷 ■デザイン ■パネル・ディスプレイ  
■DTP(写研システム・Macintosh)

有限会社 **晃進写植**  
代表取締役 城山 晃

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-3-2 高橋ビル3F  
TEL.03-3324-9288 FAX.03-3324-9328  
e-mail:koshin@abelia.ocn.ne.jp

件名：冊子「新版・荻窪の記憶(分冊)」の印刷請負

品名	数量	単価	金額	摘要
【仕様】全36ページ				
サイズ：A5判	1,000冊	165.0	165,000	
ページ：4ページ(表紙)				
32ページ(本文)				
印刷：4色(表紙)				
1色(本文)				
用紙：アートポスト紙・四六判180K(表紙)				
上質紙・四六判70K(本文)				
製本：無線綴じ				
◆デザイン・データ作成				
◆印刷・加工一式				
合計			165,000	

税込合計金額	¥181,500	税率 10%	消費税額 16,500
--------	----------	--------	-------------

備考



# 御見積書

令和 4 年 月 日

## 荻窪地域区民センター協議会事務局 御中

下記のとおり御見積申し上げます  
宜しくご検討の程お願い致します

■各種印刷 ■デザイン ■パネル・ディスプレイ  
■DTP(写研システム・Macintosh)

有限会社 晃進写植  
代表取締役 城山 晃

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-3-2 高橋ビル3F  
TEL.03-3324-9288 FAX.03-3324-9328  
e-mail:koshin@abelia.ocn.ne.jp

件名：荻窪地域区民センター協議会紹介パンフレットの印刷

品名	数量	単価	金額	摘要
【仕様】				
サイズ：A4判	2,000部	32.0	64,000	
印刷：両面4色				
用紙：コート紙・菊判62.5K				
加工：巻三つ折り				
◆デザイン・データ作成				
◆印刷・加工一式				
合計			64,000	

税込合計金額	¥70,400	税率	10%	消費税額	6,400
--------	---------	----	-----	------	-------

備考



**資料7-2**

**南北バスすぎ丸の現状と関東バス「フリー乗降」実証実験について**

区では、平成 12 年から南北交通の不便解消等を目的に、南北バス「すぎ丸」の運行を順次開始し、これまで多くの方々にコミュニティバスとしてご利用いただいております。

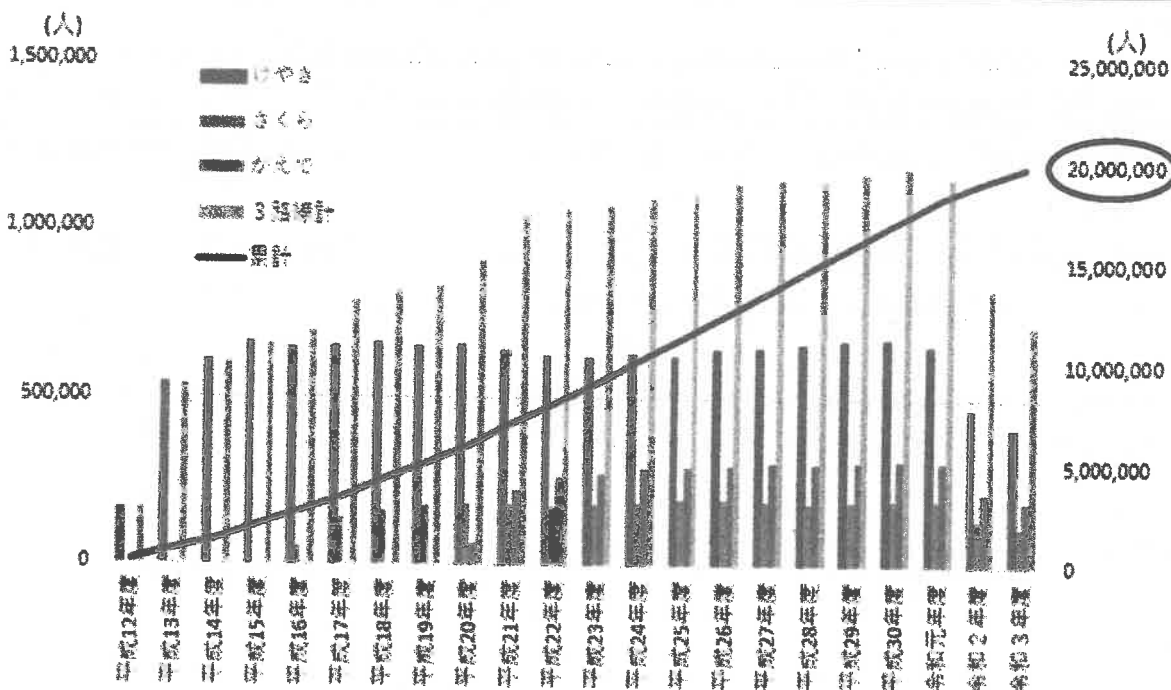
すぎ丸の乗客数は、おおむね年々増加しており、令和 2 年 11 月には運行開始から 20 年の節目を迎えました。そして、令和 4 年 3 月には 3 路線合わせた累計乗客数が、ついに 2,000 万人を突破する見込みです。今後も、運行事業者である京王電鉄バス株式会社と関東バス株式会社（以下、関東バス）とともに、区民の皆様にとっての「地域の足」として、安心・安全にご利用いただけるように運行を努めてまいります。

また、区内を運行する関東バスでは、乗客の利便性向上や今後の新たな運行形態への準備として、運行面と乗客双方の問題点や課題を検証するため、下記路線の一定区間でバス「フリー乗降」実証実験を新たに実施します。

区民の皆様におかれましては、バスから最終目的地までのラストワンマイルの移動手段の確保として、関東バスによるフリー乗降車サービスをご活用ください。

区は、今後も交通事業者と公民連携を図りながら、区内の移動利便性を高める取り組みをより一層進めてまいります。

**南北バス「すぎ丸」の累計乗客数 2,000 万人突破！**



**すぎ丸の路線別乗客数と累計乗客数の推移**

(おかげさまでたくさんの方々にご愛顧いただいております。)

**関東バス「フリー乗降」実証実験 23区初！**

フリー乗降とは、バス停以外でも路線上任意の位置で乗降できるもので、都内23区では関東バス株式が初の取り組みとなります。

(注)下記の路線バス系統の予め決まった時間・区間のみがフリー乗降車の実施対象となります。関東バスが運行する他の路線バスやすぎ丸かえで路線では実施しません。

**実施路線・区間**

荻51系統 荻窪駅南口～シャレール荻窪

⇒『シャレール荻窪入口』～『特養ホームおぎくぼ紫苑』～『シャレール荻窪』間の0.55km

(『特養ホームおぎくぼ紫苑』バス停前後のガードレール設置区間0.11kmを除く)

**実施期間・時間帯**

令和4年3月16日(水)から4月15日(金)までの31日間

荻窪駅南口を午前9時から午後4時までに発車する便

**運行事業者・管轄営業所**

関東バス株式会社 五日市街道営業所

所在地: 杉並区成田西2丁目18番20号

**実施方法**

- ・乗車する際は、バス車両進行方向左側の歩道および路肩にて挙手で乗車の意思を示してください。(進行方向右側で乗車意思を示した場合は、安全上、乗車できません。)
- ・降車する際は、降車したい場所の30m程度手前で停車ボタンを押してください。運転士が安全な場所を確認して停車します。
- ・交通安全に配慮するため、道路交通法等により駐停車が禁止されている場所、停車すると危険な場所などでは、フリー乗降区間であっても乗降車ができません。

実施の詳細は、関東バス株式会社 ホームページ(下記の二次元コード)をご確認ください。

(※3月1日以降、関東バスHP掲載予定。)

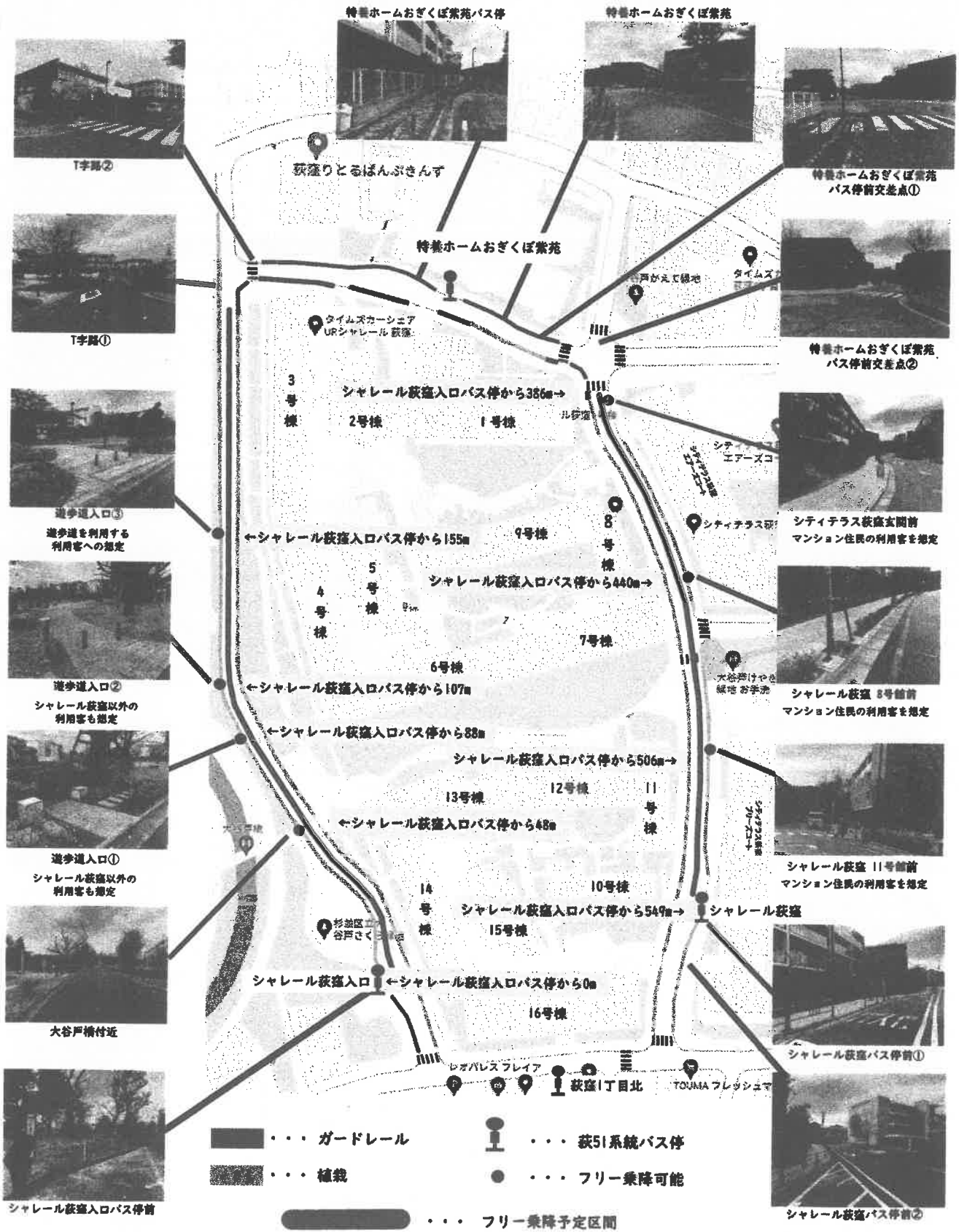


**利用に関するお問い合わせ**

関東バス株式会社 五日市街道営業所 03-3398-2211

# シャレール萩窪フリー乗降予定区間

2022年2月8日現在



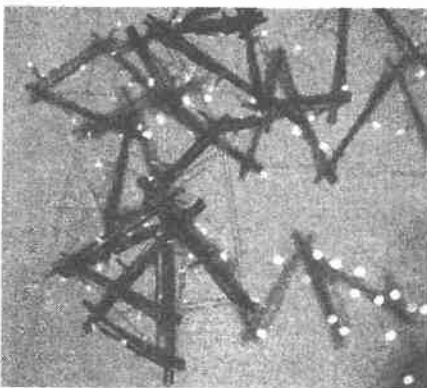
# 東京イナサイド

## 商店街の空に光る割り箸 250mイルミネーションが描くメッセージ

有料会員記事 東京イナサイド

森治文 2022年2月20日 15時00分

🔍 📄 📄 📄 📄 📄 <https://digital.asahi.com/sp/articles/ASQ2M...> 🔄



割り箸をつないだオブジェに青色LEDをつけたイルミネーション=2022年2月17日午後、東京都杉並区、川村直子撮影



東京都杉並区の商店街の夜空を青いイルミネーションが彩っている。約250メートルにわたるLED電球を支えるのは、約1万8千膳の割り箸だ。資源保護やリサイクルに関心をもち、店主らが使用済みや不良品の割り箸を集めた。近くの病院でコロナ禍と闘う医療従事者への感謝も込めている。

JR荻窪駅北口から続く荻窪教会通り商店街。その芸術祭「アートゲート荻窪2021」で昨年11月から点灯し、芸術祭後も今年2月末まで点灯している。

考案したのは、芸術祭を企画した建築家で、商店街のバーも経営する堀川秀夫さん（63）だ。買い物など日常の暮らしの中で心に響く作品をめざし、使い捨てられがちな割り箸に着目した。

割り箸は複数のNPOを通じて無償提供してもらった。飲食店などで使われた箸は洗浄し、国産の間伐材で作られた未使用の不良品も加えた。糊ごみでつなげて骨格に見立て、商店街の上空をうねらせてLED電球を取り付けた。

日中は割り箸が日光にきらめき、夜は電球が満天の星のように輝く。点灯期間を終えたら、解体して製紙用に寄付する。

商店街の先には、コロナ患者を受け入れる東京衛生アドベンチスト病院がある。敷地内にある教会が商店街の名前の由来になったという。

堀川さんは「コロナ禍で今、人と社会や街の関わり方も変わっている。作品を通して、食にまつわる持続可能性の問題を考えてもらいたい。医療従事者への支援の思いも発信できれば」と話す。  
(森治文)

[PR]

### 注目の連載記事 → もっと見る

ごはんラボ  
魚介のうまみを大胆に煮詰め  
て 手軽に作るアクアパッツ  
ア



いちからわかる！  
東京23区から離れる人、増  
えているの？



### 注目情報

注目情報